

會務報告

第 26 卷 第 11 號 昭和 15 年 11 月

役員會

第 14 回理事會 (昭. 15. 9. 19.)

出席者: 中村會長, 谷口, 吉田兩副會長, 和田理事外 4 名, 中村書記長外 2 名。

報告

1. 關西支部第 5 回役員會議事及幹事異動, 退任村上保則君新任大森義文君。

議事

1. 土木學會支部規定に就き審議し原案を決定。
2. 滿洲土木學會との提携に關する覺書に就き審議し原案を決定。
3. 滿洲土木學會發會式に本會代表として前會長眞田秀吉君に出席を煩はす外中村書記長, 小野寺庶務主任を派遣することとせり。
4. 入退會を別記の通り承認。
5. 土木學會誌の營業廣告は第 26 卷第 10 號會誌以降掲載を停止すること及衣斐周助君に對し手當を支給することとせり。

第 15 回理事會 (昭. 15. 10. 14.)

出席者: 中村會長, 谷口, 吉田兩副會長, 和田理事外 5 名, 中村書記長外 2 名。

報告

1. 滿洲土木學會發會式舉行の模様並に設立に伴ふ覺書に關する協議の結果。
2. 日本工學會が全日本科學技術聯合會に加盟。
3. 關西支部第 5, 第 6 回役員會議事, 關西大會及土木工學研究會記事。
4. 關西支部役員變更。

退任 新任

商議員 山口十一郎君 商議員 三島卯四郎君
" 平野重市君

退任 新任

幹事 村上保則君 幹事 大森義文君

5. 中部支部第 3 回總會議事。
6. 中部支部評議員變更。
大串榮太郎君 石川榮次郎君 大島六七男君
杉山宗次郎君 中村滿輔君 鈴木健二君
中 忠義君 上井兼吉君 大石 巖君
星野茂樹君
任期満了の處重任, 鴛尾盤龍君新任。
7. 中部支部長野部會記事。
8. 北海道支部商議員河西定雄君退任, 善如寺秀太郎君新任。

議事

1. 關西支部内規中下記條項の改正を承認することとせり。

内規

- 第 2 條第 1 項「商議員ハ土木學會關西支部規定第 3 條ニ準シ選舉ニヨリ」を「商議員ハ會員ノ互選ニヨリ」に第 3 項「幹事長ハ商議員」を「幹事長並ニ幹事ハ商議員」と改正
- 第 3 條第 1 項中「毎年其半數」を「毎年總會ニ於テ其半數」に, 第 2 項中「役員ニ臨時缺員」を「商議員ニ」と改正
- 第 4 條第 1 項「大會」を「總會」と改正
2. 第 3 回同年次學術講演會を明年福岡市に於て開催することとせり。
3. 滿洲土木學會の設立に伴ふ定款及規則改正に關し本年 11 月下旬臨時總會を招集することとせり。

第 7 回常議員會 (昭. 15. 9. 19.)

出席者: 中村會長, 谷口, 吉田兩副會長, 井關常議員外 8 名, 岡野前會長外 5 名, 丹羽鋤彦君, 中村書記長外 2 名。

報告

1. 北海道支部内規一部改正。
2. 中部支部内規一部改正。
3. 7, 8 月入退會。

議事

1. 定款及規則の改正を別紙委員會原案(省略)の通り決定。
2. 土木學會支部規定を別紙原案(省略)の通り決定。
3. 滿洲土木學會と提携に關する覺書別紙原案に就き逐條審議をなせり。
4. 定款改正に伴ひ緊急を要する場合は臨時總會を招集することとせり。
5. 滿洲土木學會設立總會に本會代表として前會長眞田秀吉君に出席を煩はすこととせり。

總務部記事

第 5 回定款改正委員會 (昭. 15. 9. 16.)

出席者: 谷口(委員長代理), 鈴木委員外 3 名, 中村會長, 稻葉, 富永兩理事, 中村書記長外 2 名。

1. 土木學會定款及規則の改正案に就き逐條審議を行ひたり。

第 6 回定款改正委員會 (昭. 15. 9. 19.)

出席者: 辰馬委員長, 鈴木委員外 3 名, 中村會長。

吉田副會長，稻葉理事外 2 名，中村書記長外 2 名。

1. 土木學會定款及規則の改正案を審議し原案を決定。

第 87 回講演會 (昭. 15. 10. 18.)

會 場：帝國鐵道協會

演題及講演者：

1) 阿弗利加及南米を旅して

會員 太田尾廣治君

2) 新體制に就いて

男辭 井田 磐 楠君

出席者：130 名

晩餐會出席者：36 名

編輯部記事

第 10 回會誌編輯委員會 (昭. 15. 10. 9.)

出席者：廣瀬委員長，大石委員外 5 名，左合編輯主任外 4 名。

1. 第 26 卷第 10 號登載原稿謝禮を決定。

2. 第 26 卷第 12 號登載原稿を次の如く決定。

論說報告：乾燥砂層内垂直土壓に關する二三の問題 (會，眞井耕象)，ソリッド・リブ・アーチの挫屈強度の計算法に就て (會，樋浦大三)，熔接鐵道橋の安全率に就て (會，工博，田中 豐)

彙 報：開水路の流量計算に就て (會，隱家延次郎)，ソ聯鐵道橋の衝擊係數 (會，原田干三)，京城の都市清掃と處分問題 (會，稻垣恭一郎)，實施試驗中の並枕木懸生方法に就て (會，高田福次)

抄 録：Pennsylvania 高速道路の設計資料，偏心軸荷重を受ける矩形断面の寸法決定法，長徑間鐵筋コンクリート格納庫，摩擦なき半徑方向のピンに依り支へられた圓環の應力，簡単な函梁の設計，有鉸結構の應力算定に就て，長徑間自己支持サイホン，振りを受ける骨組のモーメント配分法，渦動度輸送の理論の環狀断面の管に沿うて流れる渦流に對する應用，渦流に關する相似性理論の環狀断面の管に沿うての流れに對する應用

調査部記事

コンクリート調査委員會 (第 22 回堰堤コンクリート小委員會) (昭. 15. 9. 18.)

出席者：沼田委員長，吉田委員外 13 名。

協議事項

1. 示方書適用範圍。

2. 第二讀會の方針。

コンクリート調査委員會 (第 23 回堰堤コンクリート小委員會) (昭. 15. 10. 10.)

出席者：沼田委員長，吉田委員外 14 名。

1. 第 1 條適用の範圍を討議し原案通りとし解説に書く事とせり。

2. 第 1 章を適用の範圍及び定義とし第 2 章を削除し，第 2 條を定義とする事。

3. 第 2 章第 5 條迄終了。

水理公式調査委員會幹事會 (昭. 15. 9. 18.)

出席者：安藝，本間兩幹事，福田部幹事外 3 名。

協議事項

1. 各部に於て擔當すべき項目に就て協議す。

2. 記號の統一に就て幹事案を作製す。

3. 發表形式に關する試案を各部に於て成るべく早く作製すること。

關西支部記事

第 5 回役員會 (昭. 15. 9. 10.)

出席者：平野支部長，大島幹事長，稻浦幹事外 2 名，柳田審議員外 8 名，坂本前支部長外 3 名，其他。

議 事

1. 第 11 回土木工學研究會に關する件，2. 關西大會に關する件，3. 土木事業審査委員會報告，4. 工事ニュース編纂委員會，5. 商議員退任報告，6. 幹事移動報告。

第 6 回役員會 (昭. 15. 9. 26.)

出席者：平野支部長，大島幹事長，稻浦幹事外 2 名，川上審議員外 10 名，永井前支部長外 4 名。

議 事

1. 商議員補選の件，2. 支部内規改正の件。

土木學會關西大會 (昭. 15. 10. 16.)

1. 講演會 出席者：300 名。

會 場：京都帝國大學

請 演：(1) 軌條更正處理，比企 元君，(2) 最近の土木材料，近藤泰夫君 (3) 桂川河水統制，小野龍一君 (4) 飛行場，末森猛雄君

2. 見學會 參加者：152 名。

行 程：日活撮影所，清瀧川金鈴峽，嵐峽下り

3. 懇親會 出席者：65 名，於嵐山，嵐峽館

第 11 回土木工學研究會 (昭. 15. 9. 26~28.)

出席者：延 1677 名。

講 義：(1) 航空測量學，伊集院 久君 (2) 近代都市經營論，瀧山良一君 (3) 河水統制に就て，水谷 銜君 (4) 木道路橋設計示方書，電弧熔接鋼道路橋設計及製作示方書説明，鈴木清一君

中部支部記事

中部支部長野部會 (昭. 15. 6. 29.)

出席者: 田淵支部長外 60 名。

講演: (1) 未曾川筋に於ける代表的工事に就て, 石川榮次郎君 (2) 天龍川筋に於ける代表的工事に就て, 大西英次君 (3) 信濃川筋に於ける代表的工事に就て, 知久清之助君 (4) セメント代用工法に就て, 金子南瀧君 (5) 大原線に於ける地之と其對策に就て, 川又久夫君 (6) 治山治水に就て, 幸木宣次君

懇親會

中部支部夏期講習會 (昭. 15. 7. 12~14.)

會場: 名古屋高等工業學校 出席者: 378 名

講義: (1) 防空土木に就て, 松井達次君 (2) 木道路橋の設計に就て, 樋浦大三君 (3) セメント業の現情と配給統制, 玉木 崇君 (4) 彈性波式地下探査法, 渡邊 貫君 (5) 混合セメントに就て, 福島彌六君

第2回視察旅行 (昭. 15. 8. 3,4.)

參加者: 30 名。

行程: 有峰堰堰, 宇奈月 1 泊, 日本電力第 3 發電所高熱隧道, 黒部溪谷

第 3 回定期總會 (昭. 15. 9. 22.)

場所: 岐阜縣廳縣會議事堂。

出席者: 142 名。

議事: 會務報告。
評議員選舉。

講演會: (1) 未曾川治水史, 伊藤 信君 (2) 西平發電工事に就て, 鈴木鹿象君 (3) 瀧洲視察談, 北澤忠男君

見學: 養老瀧, 瀧谷, 小倉各砂防工事, 牧田川改修工事, 大垣城, 岐阜國道, 犀川改修工事, 忠節橋改築工事, 長良川改修工事

懇親會

日本工學會記事

全日本科學技術團體聯合會に加盟し, 代表を理事牧鏡夫君とす。

その他記事

土木學會誌第 26 卷第 9 號を發行成規の手續を了し會員に配布せり。

入會及轉格會員

(敬稱を略す)

特別員 (入會)

東京市役所 大久保留次郎, 橋本祐幸, 豐田豐吉, 藤岡兵一 工
今井哲, 高木敏雄, 大迫元繁, 山本亨
小野基樹, 森田三郎

會員 (入會)

大町秀太郎 小宮釵次 濱上幸作 佐藤益男 益田良彦

准員 (入會)

阿久津敏明 岡本勝重 後藤喜美男 酒見新 白石源次 竹本繁康
石原保男 葛城修三 佐伯鎮 貞光誠一 鈴木慎一 土田五三郎
岩本重一 河野爲二 佐田愿 清水三郎 田中辰五郎 戸塚義夫
禹濟辰 久保覺 座木春次 島本爲三 多田秀士 砥綿久平次
西河廣隆 八田幸一 古江賢藏 森廣一 好結城金藏 新井正美
西崎義毅 早川愛造 眞下皆吉 山崎進 吉村方茂 越智友市
西村龜喜 姬野正 松本彌三郎 山下節 渡部富雄 大津四郎
野川正巳 二村武夫 水戸勇男 湯地茂樹 大坪義久 渡部操

學生員 (入會)

海野信吾 江崎万策 佐藤喜一 林正美 村瀬清彦 翼星
桑原清・作

會 員 (轉 格)

赤澤	澤川	常貞	雄治	小佐	林古	茂田	吉淺	千塚	田本	金新	治之	沼長	田征	矢榮	雄平	牧松	野下	秀樹	茂山	矢山	島口	武秀	藤治
鮎井	川上	貞正	治夫	佐四	古々	田木	長小	塚倉	岡清	新五	助郎	長谷	谷川	川章	榮二	松三	山上	樹三	山郎	山口	武崎	秀一	幸次
岩上	原田	信哲	吉雄	居石	々木	萬駒	一祐	戸津	東田	光基	也夫	原阿	勝勳	格夫	三宮	三成	健道	三慶	山山	崎源	崎元	次郎	治郎
及内	川原	龍昌	一平	鈴田	鈴木	木信	正夫	藤富	野正	進路	雄公	樋口	保三	充郎	武藤	宮永	敏三	又三	吉吉	川吉	田永	友義	太郎
大田	橋武	耕三	朝孝	田中	中邊	義正	朝彥	中永	井科	真直	公一	藤穗	積健	茂和	森森	田芳	十典	三郎	吉吉	村田	永忠	讓忠	文齊
太奥	田谷	教義	治一	多竹	田川	内爲	爲吉	仁丹	生居	屋春	友吉	星細	野江	俊幸	森森	田木	田正	田正	吉三	村三	忠三	忠三	一郎
笠勝	川口	治一	雄一	丹	内			西				眞	嶋	恭	八								

准 員 (轉 格)

岩田 行雄 野村 壽

土 木 學 會 々 員 數 (昭. 15. 9. 19 現在)

會 員	准 員	學 生 員	特 別 員	贊 助 員	合 計
3556	4978	1307	102	26	9969

會 員 萩野 廣君昭和 15 年 9 月 27 日逝去せられたり、本會は靈前に弔詞を呈し恭しく哀悼の意を表したり

會 員 衣川清一君、齋藤 朴君の訃報に接す、本會は恭しく哀悼の意を表す

准 員 松本 豊君昭和 15 年 6 月 13 日戰死せられたり、本會は靈前に弔詞を呈し恭しく哀悼の意を表したり

准 員 伊藤澄雄君、岡部雄美君、三原貞行君、山口 多君の訃報に接す、本會は恭しく哀悼の意を表す

學 生 員 長田庄平君戰病死せられたり、本會は靈前に弔詞を呈し恭しく
哀悼の意を表したり。

學 生 員 橋岡 保君の訃報に接す、本會は恭しく哀悼の意を表す

昭和15年10月25日印刷 昭和15年11月1日發行 (定價金1圓)

編輯兼發行者 東京市牛込區南町33番地
中村孫一

印刷者 東京市神田區美土代町16番地
島運太郎

印刷所 東京市神田區美土代町16番地
三秀舍

東京市麴町區丸ノ内3丁目6番地

發行所 社團法人土木學會

電話 丸ノ内(23) 3945番 振替口座東京16828番

土木學會役員 (昭和 15 年度)

理事 會長 長 事務部長 山田尾本伊 常務顧問 青岡瀧松	中和稻 雄貨也吉 秀 達一之	村田葉 井金當水 謙重兵 關子永谷	一辰衛 正 正當 雄根義起	副經理 雄根義起	會長 稻倉百目	會長 葉田武黒 副部長 葉田武黒	谷稻瀧 櫻 玄定雄 葉田武黒	口葉尾 衛二一平	三通澄 衛二一平	郎彦也 稻峯廣和	副編東 通眞六重 葉藤瀨田	副編西 葉藤瀨田	會長 彦三郎辰 副部長 葉藤瀨田	吉廣富 大鈴藤	田瀬永 阿木井	德孝 禮長太	次六正 松	郎郎義 三治郎								
關西支部 部長 雄郎榮郎郎 支商 幹事 仲四太 野谷原間島	東北支部 部長 之助三銃三郎 支商 幹事 誠之清 暢榮 森島木野田	北海道支部 部長 兄一郎五郎 支商 幹事 諒毅 秀利久 小野寺喜如田坪	中部支部 部長 郎郎郎忠也治孝 支商 幹事 壽三太次 良民廣清 淵部串山邊田企山	西部支部 部長 郎郎著作七助 支商 幹事 三一 文彌之 幸宮田田藏	朝鮮支部 部長 郎政豐郎雄介 支商 幹事 次重田次義敬 留神保居山本	會誌編輯委員 會長 郎一雄仁雄 委員 六 敬輝 正 廣安佐本左	支商 幹事 大川田柳稻 野上村田浦 野山藤橋澤	支商 幹事 夫亮郎藏三 節經次清利 野山藤橋澤	支商 幹事 上上佐高門 小鷹山高	支商 幹事 郎平吾郎 次福信五 鶴屋 敏	支商 幹事 郎男二良郎紀吾 次七健三太正金 榮六源又 川島木井吹本 石大鈴土花伊松	支商 幹事 世三久 博 百真 川 藤早原 野	支商 幹事 定次二治郎 幸衛増 四 村水郷井上 強	支商 幹事 勇夫治 和孫 石永村 大友松	支商 幹事 雄總郎泰一 信季 太朝信 崎藤司城藤	支商 幹事 伯倉 倉 佐奈 板	支商 幹事 吉松 三 利龜 忠 兼英 鹿忠茂三 井西木 野泉 上大鈴中星今	支商 幹事 杉平 笠	支商 幹事 藤田 井 葉後薄 深	支商 幹事 久 浩 文俊 谷	支商 幹事 彦雄 孝 巖吉重輔龍嗣 續正滿登代	支商 幹事 菊寺山 長	支商 幹事 池田本 久保信 英 夫 明鐵義 郎	支商 幹事 川鈴本 星	支商 幹事 澤野 喜義 代 義	支商 幹事 黑藤 澤野

日本機械學會よりの懸賞募集に就て

日本機械學會より下記の如き懸賞募集がありましたから御希望の方は應募して下さい。

土 木 學 會

懸 賞 募 集

題 名	車 輛 の 改 善
要 項	國鐵私鐵の各種車輛及乗合自動車の設備構造等下記事項に就て技術的改善方法を具體的に書くこと。その中有效適切と思はるゝものには賞金を贈呈する。
字 數	字數、用紙等は限定しない。
締 切	昭和 16 年 1 月 末 日
宛 先	日本機械學會（封筒に車輛の改善論文と記入のこと）。 （東京市麴町區丸ノ内 2 の 2 丸ビル 5 階 561 區）
發 表	日本機械學會誌 5 月號。
賞 金	一 等 5 0 圓 (1 名) 二 等 2 0 圓 (1 名) 三 等 1 0 圓 (2 名) 四 等 5 圓 (10 名)。
審 査 委 員	日本機械學會鐵道部門委員會。

記

1. 車 輛 一 般 車體内外部の塗色、車輛の動搖並に騒音の低減、煤煙防止、速度向上。
2. 機 關 車 蒸氣及電氣機關車の構造形態の改良並に性能効率の増進等。
3. 客 車 (乗合自動車、地下鐵及電車等を含む)
 - ア、座 席 腰掛の高さ、傾き、配置その他構造一般
 - イ、窓 戶 窓の大きさ、構造及カーテン鐵戶等
 - ウ、網 棚 網棚、帽子掛の構造及位置等
 - エ、照 明 客室の明るさ、電燈の位置、燈具の形等
 - オ、暖 房 室内溫度並に濕度の調節方法等
 - カ、換 氣 客室の機械的換氣方法等
 - キ、喫 煙 タバコの嫌ひな人のための施設及喫煙設備等
 - ク、洗 面 所 洗面所の設備構造等
 - ケ、便 所 便器の構造、水洗方法、臭氣抜きの方法等
 - コ、其 他 出入口の幅、踏段の高さ、ツカミ棒、釣手の位置構造、行先の標示方法、驛名通知装置等。

會 告

土木學會第 2 回ゴルフ會

下記の通りトーナメントを催します、奮つて御参加を希望致します。

日 時： 昭和 15 年 11 月 23 日(新嘗祭) 正午までにスタート。

但し午前 9 時 30 分以後はキャディーを依頼出来ない場合があります、成るべく早く御來場下さい。

場 所： 川崎コース。

競 技： 18 ホールメダルプレー(最初の 1 ラウンドを採る) 參着順により適宜組合せを爲す。

参加費： 金 1 圓。

申 込： 昭和 15 年 11 月 20 日までに所屬俱樂部並にハンデーター提示、土木學會有志ゴルフ會に御申込下さい。

新に入會する方は入會金 10 圓を納入すること、會規約詳細は土木學會誌
第 26 卷第 4 號會告を御覽下さい。

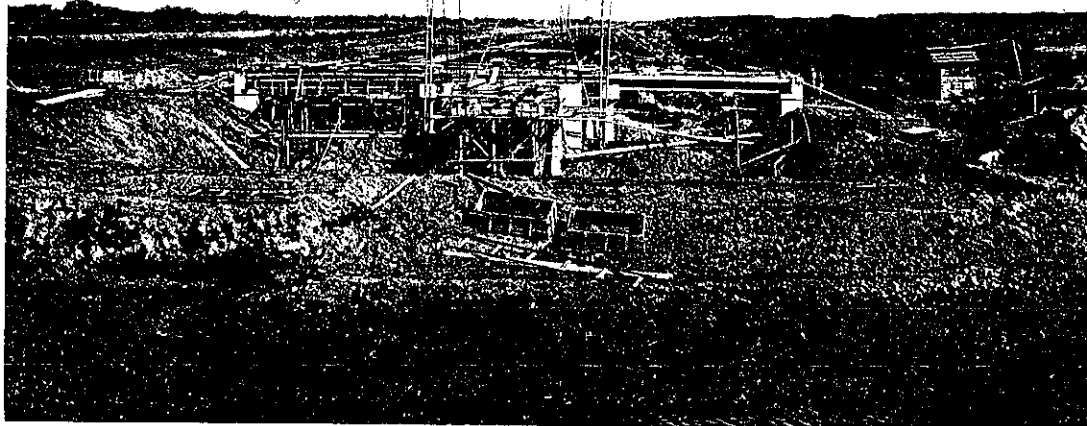
土木學會有志ゴルフ會

麴町區丸ノ内 3 の 6

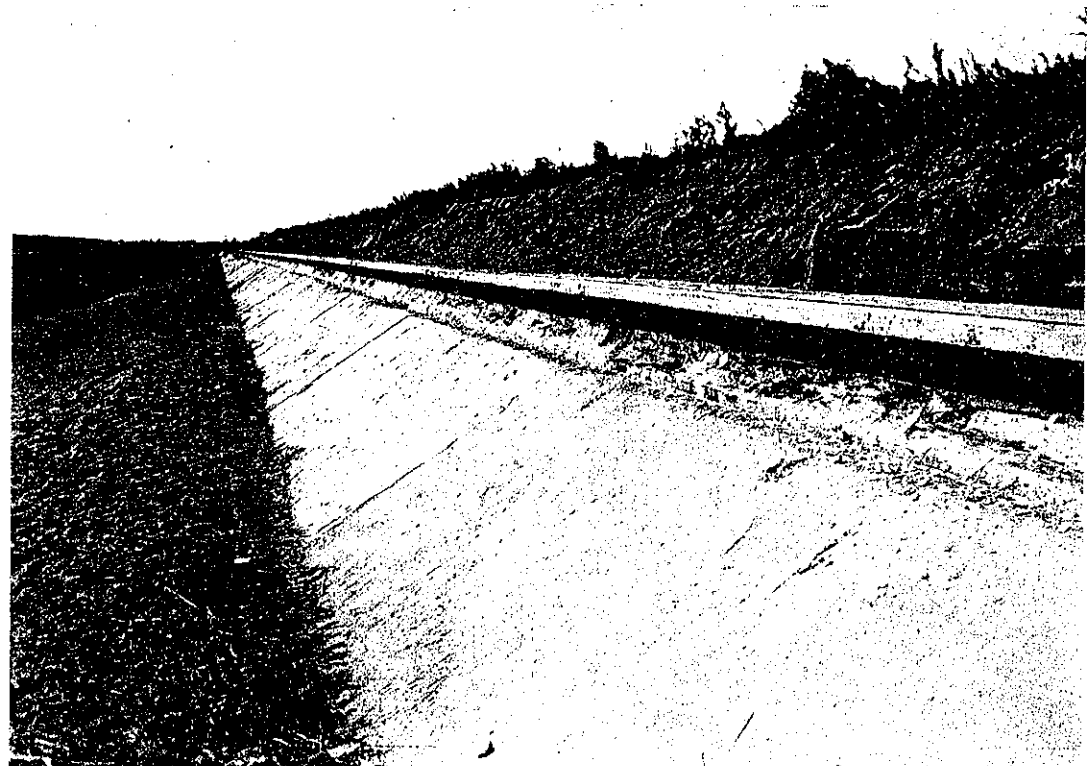
電話 (23) 3945

工事中の戸田ポートコース (其の1)

出発点側よりコースを望む

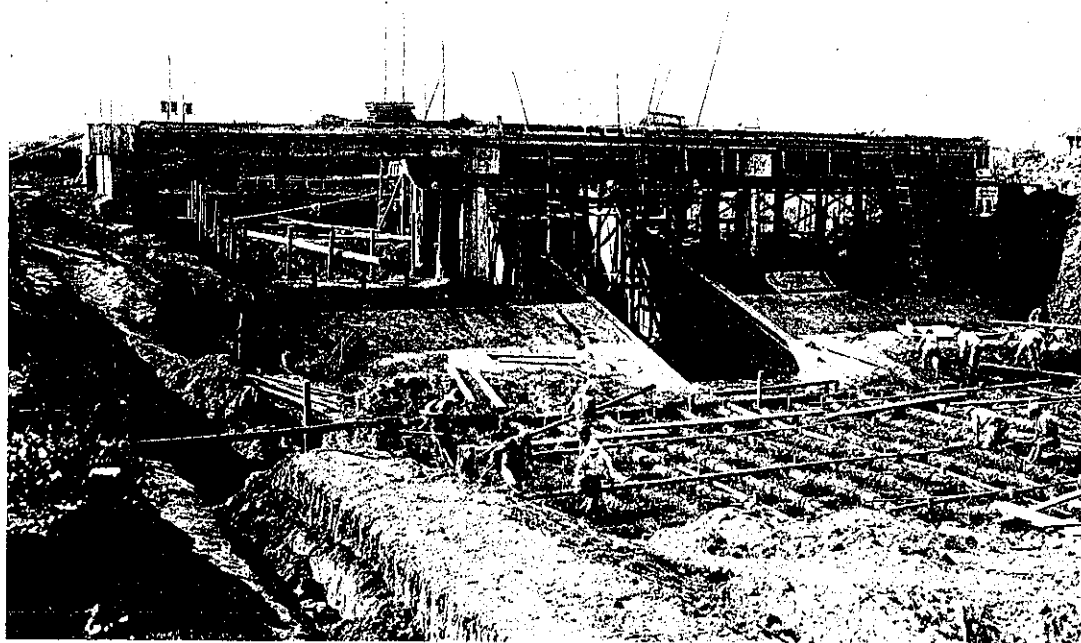


コース護岸



工事中の戸田ボートコース (其の2)

出発点側取水及溢流堰堤並に橋梁



コース排水路及排水樋門

